

1994～95年

年 次 報 告

平成6年～平成7年度



横浜緑ロータリークラブ

1994～95年

年 次 報 告

平成6年～平成7年度



横浜緑ロータリークラブ

Be A Friend
友達になろう

1994～1995年度国際ロータリー会長
ウィリアム ハントレー
William H. Huntley



第2590地区ガバナー

中山 義之 ガバナー

横浜緑ロータリークラブ会長

横 井 好 明

目 次

会 長 報 告	1
幹 事 報 告	3
活 動 報 告 書	8
理 事 会 議 事 録	10
総 会 議 事 録	20
S . A . A 報 告	21
クラブ奉仕委員会報告	21
出席委員会報告	23
職業分類委員会報告	26
親睦活動委員会報告	26
雑誌委員会報告	27
会報委員会報告	28
会員選考委員会報告	28
会員増強委員会報告	28
プログラム委員会報告	29
ロータリー情報委員会報告	32
広報委員会報告	32
社会奉仕委員会報告	32
青少年奉仕委員会報告	33
青少年委員会報告	34
インターアクト委員会報告	34
ローターアクト委員会報告	34
職業奉仕委員会報告	35
国際奉仕委員会報告	35
世界社会奉仕委員会報告	36
ロータリー財団委員会報告	36
米山奨学委員会報告	38
会 計 報 告 書	40
横浜緑ロータリークラブ組織表	42
備 品 目 録	43
充填・未充填職業分類表	44

会 長 報 告

会 長 横 井 好 明

文人のきこえ高き“渡辺宏未”会長の掲げられた、本会期の活動計画にご担当各位は緑ロータリークラブの「更なる品格の向上、更なる奉仕活動計画の拡大」をモットーとして“順風満帆”奉仕の達成に船出致しましたのに、四分三会期を残されて突然の“会長退会”という仕儀に見舞われました。前半の山場でありますガバナー訪問を控え、急遽、前期をつとめ反省しきりの私に思いがけない引継ぎの重任が待っておりますとは・・・・・・人それぞれに巧まずして持っている姿がありますように、一会期、一会期、会長の特質そのものがクラブの一年の姿となり、それ等の積み重ねが今日の緑ロータリークラブの姿であれば、会期を終えての自己反省から、再登上は「全くの厚顔の至り」と思われましたが、然し“会”の操舵は一波、一波越えゆくように組まれており猶予はありません。中山義之ガバナーの露木分区代理を伴われてのご訪問は目前に迫っておりました。私如きでよろしかったらと、意を決しましたが任期最後の一ヶ月に落とし穴がありましようとは・・・・・・神のみぞ知る・・・・・・でありました。

さて全て整えられて乗船致しました船には、本年のR I会長の掲げられた「ピアフレンド・友達になろう」の趣旨を体した、フレッシュな本期担当会員がニコニコと迎えて下さり、居並ぶ名委員長に副うが如く会員各位はエネルギーに満ちあふれておられました。私は唯「おもかあじよろし、とりかあじよろし！」と既に練られました諸計画の遂行に、寄港地を廻り「友達になろう。友達になろう。」と5月31日（私の下船日）となってしまいました。

お引継ぎ致しましてより八ヶ月

- ・中山義之ガバナーの公式訪問における会員各位の活性ある応答
- ・各奉仕委員会の目標達成へのご努力
- ・卓話における自己啓発への吸収
- ・不況下に於ける脱出への対応に対する勉強
- ・自然界の存在人類としての大切な「心がまえ」への思索等を盛りこんだ卓話の採用

等々、各位の行動の流れの中に、引き継いだ航海が楽しいものであるようにと、心をつかうようにしたのみだったような気が致します。

私の前年の会長期ご報告に「会長は何を変更し、何を継続すべきかを承知しなければならぬ」と結ばれた会長服務指針を“反すう”する結果に落着致しました。そしてパスト会長のご指導、年々の理事の各奉仕への検討、取り分けお忙しい幹事、何時もの事ながら故ありしことの多かった本年はとり

わけて会議も多く、次期会長の事ども、すべてを乗り越えられた面々のすばらしい消化能力、手腕にただただ脱帽深謝あるのみでした。

「四時の序、功を成すものは去る」とか、四季がそれぞれ万物生成の役目を果たして次の季節に交代するように、私のお役もこれにて一過を遂ぐべく、会員各位との友愛の日々を懐しみながら、この会期終了を待たず退場する事をおゆるし願いたいと思います。

今期中に遂行されました内容につきましては、年次報告としてはご用捨の上、名幹事におとりまとめ頂き、唯々各位のガードにより八ヶ月の存在が過せ、文人の会長よりぼん人の会長へ引継がれた因果をご寛恕頂き、私は感謝致すのみですが、喜びと致しまして会計報告にありますような、名予実算が結実した来期への繰越金には心温まる思いです。各位、自社へ帰られての能社長振りも“かくや”と存じます。

然しわれわれの常住する職業の世界と異り、ロータリーの役職はすべて無償の行為であり善意の7仕であると・・・・・・何はさておき、私の満腔の各位に対する謝意はこの会期のカラーです。さて何色が似つかわしいでしょう。誠に有り難うございました。

(了)

幹 事 報 告

幹 事 井 上 周 輔
副幹事 小 杉 隆

クラブの概況

名 称 横浜緑ロータリークラブ

地 域 横浜市 緑区、青葉区、都筑区

総人口

世帯数

緑 区 149,110 名 54,707 世帯 (平成 7年 6月30日)

青葉区 248,096 名 95,397 世帯 (")

都筑区 116,224 名 41,265 世帯 (")

事務所 横浜市緑区中山町230 横浜銀行中山支店内

例会場 同 上

例会日 毎週水曜日 12:30~13:30

設 立 昭和45年 2月28日 (スポンサークラブ横浜港北RC)

昭和45年 3月11日 RIの正式加盟承認

特別代表 山 崎 卯 一

昭和45年12月13日 認証状伝達式 4クラブ合同

(於 横浜文化体育館)

昭和53年 5月27日 横浜田園RC創立総会

(於 三井銀行青葉台支店) (移籍会員4名)

昭和52年11月23日 桐蔭学園高校インターアクトクラブ 認証状伝達式举行

(於 桐蔭学園)

昭和55年11月23日 桐蔭学園高専ローターアクトクラブ 創立総会

(於 桐蔭学園)

昭和59年 3月27日 横浜たまRC創立総会

(於 和光証券) (移籍会員5名)

平成 3年 5月28日 新横浜RC創立総会

(於 新横浜国際ホテル) (移籍会員0名)

付 記 所属地区は頭初第 359地区、昭和49年 7月第 359地区より山梨県・静岡県を区域とする
第 362地区が分割され、当地区は神奈川県 1 県となりました。

昭和52年 7月より R I の地区変更により第 259地区となりました。

平成 3年 7月より R I の地区変更により第2590地区となりました。

1 . 会 員 （ 6月30日現在）

(1) 会員の種類

正 会 員 25名
シニア・アクチブ会員 16名
計 41名 (内 チャーターメンバー 3 名)

(2) 年 齢

30才台～ 0 名 最高年令 76 才
40才台～ 10 名 最低年令 41 才
50才台～ 11 名 平 均 58.6 才
60才台～ 14 名
70才以上 6 名

現会員で当クラブ会員としての在籍数

1 年未満 2 名
1 ～ 3年 5 名 平 均 10.5 年
4 ～ 6年 13 名
7 ～ 9年 5 名
10年以上 16 名

2. 例会来客数

例 回 数 48 回
来 客 数 ゲスト及びビジターの合計数 65 名
(内ゲスト 41 名)

月	例 回 数	ビジター	ゲ ス ト	月	例 回 数	ビジター	ゲ ス ト
7	4	1	2	1	3	1	3
8	4	2	6	2	4	6	4
9	4	3	3	3	5	1	4
10	4	3	6	4	4	0	5
11	4	5	2	5	4	0	1
12	4	0	4	6	4	2	1
小計	24	14	23	小計	24	10	18
例回数 48 ビジター 24 ゲスト 41 計 65 名						累計	3,424 人

[入会者]

辻 一 昭 君	平成 6年10月26日	都 市 銀 行
渡 辺 隆 市 君	平成 7年 3月 1日	電 話 事 業
小 林 照 二 君	平成 7年 6月28日	自 動 車 修 理

[退会者]

渡 辺 宏 未 君	平成 6年 9月21日	一 身 上
会 田 瞭 三 君	平成 6年10月19日	転 勤
島 田 幸 夫 君	平成 6年12月31日	病 気
堀 賀 雄 君	平成 7年 2月15日	転 勤
森 實 君	平成 7年 3月22日	定 年 退 職
小 林 敬 君	平成 7年 4月25日	死 亡
夏 目 一 夫 君	平成 7年 4月30日	一 身 上
小 林 安 雄 君	平成 7年 6月30日	病 気
飯 田 重 雄 君	平成 7年 6月30日	病 気

[歴代会長・幹事及び会員数、出席率]

	会 長	幹 事	就 任 時 在籍会員数	年 間 出 席 率	備 考
創 立 時	石 川 治 道	柴 田 清	24名	92.86%	45年 6月迄
昭和45～46	石 川 治 道	柴 田 清	24名	98.58%	
46～47	(秋 田 茂)	三 澤 君 夫	41名	98.09%	
47～48	小 林 安 雄	(高 橋 正 文)	40名	94.29%	
48～49	加 藤 雅 光	名 倉 健 二	37名	98.40%	
49～50	鶴 川 昇	山 下 栄 蔵	39名	97.67%	
50～51	名 倉 健 二	武 藤 松 一	42名	97.38%	
51～52	中 山 恒三郎	岩 沢 幸 男	47名	98.60%	
52～53	三 澤 君 夫	岡 本 健	48名	98.82%	
53～54	森 善 助	(浜 田 勝 弥)	47名	98.57%	
54～55	山 下 栄 蔵	戸 田 裕 也	50名	98.74%	
55～56	岡 本 健	代々木 和 男	45名	99.33%	
56～57	岩 沢 幸 男	中 林 靖	50名	99.18%	
57～58	田 辺 政 雄	内 野 晃	48名	99.11%	

58～59	武 藤 松 一	渡 辺 武	50名	97.86%
59～60	戸 田 裕 也	寺 崎 誠 三	45名	96.31%
60～61	田 沼 文 衛	岩 岡 正	45名	96.27%
61～62	中 林 靖	赤 柄 忠 昭	50名	97.83%
62～63	内 野 晃	藪 島 五 郎	51名	96.96%

63～64 (平成 1年)

	代々木 和 男	遠 藤 真 作	53名	95.65%
平成 1～ 2	藪 島 五 郎	幸 内 伸 雄	47名	94.68%
2～ 3	近 藤 襄	渡 辺 宏 未	51名	94.54%
3～ 4	幸 内 伸 雄	横 井 好 明	50名	93.68%
4～ 5	遠 藤 真 作	日 高 信 良	44名	92.01%
5～ 6	横 井 好 明	遠 藤 一 典	44名	92.09%
6～ 7	渡 辺 宏 未	井 上 周 輔	47名	92.61%
	横 井 好 明			

[チャーターメンバー] 現会員 3 名

秋 田 茂	昭55. 2.20死去	足 立 英 一	昭46. 9. 1退会
石 川 浩 道	昭52. 6.30退会	麻 生 和 衛	昭54.12.26退会
岩 崎 董 正	昭57. 6.30退会	藤 森 茂	昭47. 4. 5退会
小 林 安 雄	平 7. 6.30退会	浜 田 淳太郎	昭48. 1.31退会
小 峰 政 博	昭48.10.20退会	細 辻 文 次	昭47. 6.28退会
	相模原南RCへ	岩 本 正 三	昭63. 7.11死去
中 山 恒三郎	昭60. 4.24退会	松 田 三 郎	昭47. 6. 7退会
柴 田 清	昭48. 4. 4退会	三 橋 英 一	平 4. 3.21死去
鈴 木 憲 一	昭54. 9. 1死去	名 倉 健 二	
土志田 昭 吉	昭54. 8.29退会	富 永 力	平 1.12.30退会
岡 本 健		鵜 川 昇	
志 田 宝	昭47. 1.29退会	吉 田 晴太郎	昭48. 5. 2退会
高 橋 正 文	昭50. 6.26退会		

[本年度地区役員]

森 善 助 君	第五分区代理
三 澤 君 夫 君	地区社会奉仕委員長
藪 島 五 郎 君	地区ローターアクト委員

〔地区大会表彰〕

(新ボールハリスフェロー)

遠藤 一典 君	堀井 基章 君	井上周輔 君
森 実 君	長沼 博 君	田中克己 君
小林 新一 君	小林 敬 君	

(新マルチプル)

内野 晃 君

(新ベネファクター)

三澤 君夫 君	名倉 健二 君	森 善助 君
内野 晃 君		

(新米山功労者)

森 善助 君 (4回目)

活 動 報 告 書

幹 事 井 上 周 輔

副 幹 事 小 杉 隆

昭和45年 2月28日に港北区より緑区が分区独立のに時に創立された我が横浜緑ロータリークラブ創立25周年を迎えた当年度は、横浜市行政区域の変更に伴い青葉区と都筑区が誕生し、11月 6日より緑区会員17名、青葉区会員15名、都筑区会員 2名（会員住居）、区域外12名、計46名の編成となりました。そして戦後50年、大きな節目の年を迎え、景気回復への着実な足取りを期待されましたが、関西大地震、非道極まるオウム事件、混迷を続ける政治、バブル崩壊後遺症による経済情勢と幾多の難問を抱えた一年間でありました。

クラブ活動においては、渡辺会長の就任挨拶で品格と知性の備わったロータリアンの集合団体なので他団体のいずれより「格式ある、誇りあるクラブ活動」を目標とし「出席して為になる例会」の設営を会員全体で考える大きな課題として、理事、役員、各委員長さんの御協力を得て、第一例会日にクラブ活動計画書を作成、配布し、25周年節目の年度としてのスタートでありましたが、ガバナー訪問直前に渡辺会長の突然の退会という不測の事態に直面し、横井直前会長に10月 5日より再度の大任をお願い致しました。そんな状況の中で10月19日の中山義之ガバナーの訪問を受けました。中山ガバナーより横井会長と渡辺会長の引かれた路線を引き継ぎ、一年間の立派な業績をあげた自信を持って当クラブの益々の発展を期待するとの御挨拶を頂戴し、素晴らしい卓話とともに深い感銘を受けました。これを受けての中山義之ガバナー及び露木第5分区代理に御臨席をいただいたクラブ協議会も各委員長さんの活動計画についての所見表明等活発な協議を行い、無事に公式訪問を終了することが出来ました。

(一) 出席して為になる例会設営については、脇田SAAの明るい雰囲気での進行で楽しい例会運営がなされました。お祝いに日常ロータリー活動に対する理解と御協力に感謝し、奥様へ花束を贈呈し、毎月の1例会日に奥様の御来席を頂いて例会に明るさを期しましたが、ガバナー訪問時と夜間例会時のみしか実現出来ず残念でした。

当年度年次大会にて朴RI会長代理がスピーチの中で、日本のロータリアンの奥さんはどうして参加しないのですか？奥さんを働かせているのですか？床の間に飾っているのですか？是非参加される様にとのユーモア溢れる御婦人の参加への呼びかけがありましたことをお知らせ致します。次年度より多くの会員と奥様の参加をお願いします。

(二) クラブ奉仕委員会、青少年奉仕委員会、職業奉仕委員会、国際奉仕委員会の活動については、各委員長さんの一年を省みての御報告が有りました通りに当年度目標を実現されました。社会奉仕委員会は松田委員長の病氣療養のため中林副委員長に代行をお願いし

①緑区肢体不自由児者と父母の会夏季研修旅行に斉藤（宏）会員、市瀬会員、小林（新）会員の大人の3名が参加しボランティア活動を致しました。

②緑区肢体不自由児者父母の会に賛助金として¥100,000 寄贈致しました。

③特別養護老人ホーム「緑の郷」に車椅子（2台）と食卓ワゴン（3台）を贈呈しました。

④新横浜RCと共催でチャリティーバザーを両クラブより御夫人に多数参加を頂いて盛会のうちに終わりました。

以上社会奉仕委員長に代行して報告させていただきます。

（三）当年度の地区管理方針について

①各ロータリークラブが地域社会のさらには世界社会のニーズを積極的に見つけ出し「Be A Friend 友達になろう」そして友人としての気持ちを育み共にニーズを解決して行きたいものですとの具体的な目標として提示されたRI会長よりの「社会への思いやりに対する会長賞」を第2590地区内受賞、26クラブの中で当クラブも6月29日の当年度会長幹事会にて授賞することとなりました。当クラブの輝かしい実績とパスト会長始め歴代役員、会員の皆様の貢献の賜と御報告致します。

②クラブが円滑に運営され奉仕の輪を広げるためにもクラブの活性化を図る会員増強が重要課題でしたが、増員目標を達成出来ず残念です。

③ロータリー財団への貢献については内野ロータリー財団委員長の御尽力を頂きました。

④米山奨学会への貢献についても、代々木米山奨学委員長の御尽力のもとに目標を達成しました。両委員長の御尽力に感謝するとともに会員の皆様の御協力ありがとうございました。

⑤ロータリー情報、広報の重視についてはロータリアンとしての責務を自覚したクラブ活動を他の団体とは違う特質を堅持した奉仕活動を展開すべく卓話者に報道、福祉、行政関連のエキスパートの方々や年の功のクラブ代表者、そして「現代病とストレスについて」「職場とエイズ」と現代医学に関する有意義な卓話を頂き地元新聞社の取材に協力しました。社会奉仕委員会の活動についても積極的な情報の提供を致して参りました。

（四）一年を省みて反省ばかりの連続ではなかったかなという感じです。渡辺会長の後任をお願いしました横井会長には任期一ヶ月を残しての入院が誠に残念です。遠藤年度の後半、横井当年度（昨年）、そして当年度渡辺会長の後任と通算三期に亘る会長職で公私において多大な御負担となられましたことを深謝するとともに一日も早い御快復を祈念致します。

最後になりましたがロータリー歴の浅い私が幹事の大役をつつがなく一年間を務めさせて頂くことが出来たことは、横井会長始め、会長代行をお願いしました藪島、近藤両副会長及びパスト会長理事、役員の方々の御指導と御鞭撻そして会員の皆様の御協力、事務局の瀬島さんの御援助の賜と肝に銘じ感謝申し上げます。

一年間皆様の友情と御寛容を賜り、誠にありがとうございました。

理事会議事録

☆第1回理事会

日 時 平成 6年 7月 6日 13:45～14:30 例会場において

出席者 理 事・渡辺宏未、近藤 襄、藪島五郎、田中克己、森 実、田中亮二

前会長・横井好明

会 計・長沼 博

幹 事・井上周輔

議 題

1. 本年度予算の承認（前年度未収金等について）

2. 会費の決定と納入日

年会費 ¥300,000 として

第一回納入 ¥150,000 納期 7/31迄

第二回納入 ¥150,000 納期 12/10迄

3. 食事について

4. プログラムの承認

- ・ 毎月第二例会日に四つのテストを唱和する

P会長にスピーチを含めてお願いする

- ・ 夜間例会 7/27 「米宗」において行う

会費の決定 会費 ¥10,000

5. 第一回クラブアッセンブリについて（下記の通り承認）

- ・ 6/ 8 クラブ活動計画書作成のため各委員長出席して打合せを行った

- ・ 6/29 役員打合せ会を行った

6. 出席率の向上について

出欠の一覧表を作成し、届出欠席、無断欠席の管理を行い出席に対する意欲向上に努める

☆第2回理事会

日 時 平成 6年 8月 3日 13:40～14:40 例会場において

出席者 理 事・渡辺宏未、小林 敬、近藤 襄、藪島五郎、田中克己、森 実、金子朝夫

中林 靖

前会長・横井好明

会 計・長沼 博

幹 事・井上周輔

議 題

1. 前期予算超過分に対する追加会費 ¥20,000の納入依頼及び超過理由について
横井前会長、長沼会計 例会にて報告済（資料配布）
2. 会費の納入状況報告
長沼会計より報告（現在70%納入済） 8/10 集計の上、未納者に納入催促をする
3. 日高会員の会員身分終結について
前年度末に定款により終結済
4. 夏季中の例会時の服装について
背広及びネクタイの着用を必要としないが清素な服装にて出席のこと
5. 肢体不自由児父母の会、夏季旅行に社会奉仕委員会より ¥100,000 を賛助金として贈呈する
6. 本棚寄贈費用 ¥10,000は会員 1 名 ¥500 のニコニコをお願いしこれに充当する
7. 8/31夜間例会を新横浜プリンスホテル41F ステーキ&シーフード「ボストン」にて18:00 受付
会費 ¥10,000 家族会員 ¥5,000
8. その他
 - ・ 松田会員入院のため出席計算除外会員とする
 - ・ 社会奉仕活動についてのアンケート作成
社会奉仕委員会、松田委員長入院のため中林副委員長にお願いする
 - ・ 会員相互の慶弔に対し慣例に基づき慶弔規定を草案の上検討、決定する

☆第3回理事会

㊦ 時 平成 6年 9月 7日 13:40～14:10 例会場において

出席者 理 事・渡辺宏未、小林 敬、藪島五郎、田中克己、金子朝夫、田中亮二

会 計・長沼 博

幹 事・井上周輔

議 題

1. 出席計算除外会員 2 名に対する今後の指針について
井上幹事が黒沼会員、関口会員と面談の上、出席要望する
2. 飯田会員長期欠席届の件 出席計算除外会員扱いか否か
9/9 検査結果の提出を待って決定する
3. 会費納入状況報告（長沼会計より）

未入金3名（関口、飯田、小林）改めて長沼会計より催促する

4. ベネファクター 当クラブよりの協力者 内野会員、山下会員を推薦する

5. 職場見学 10/ 5 キリンビール生麦工場 12:30 より、移動例会とする

6. 10/19 のガバナー訪問前週例会(10/12) 時の米山月間クラブフォーラムを短縮しクラブアッセンブリを行う

7. 慶弔規定（案）の討議～決定

8. 入院中の松田会員に見舞の花を贈呈

☆臨時理事会

日 時 平成 6年 9月28日 13:40～14:10 例会場において

出席者 理 事・小林 敬、近藤 襄、田中克己、森 実、金子朝夫

幹 事・井上周輔

議 題

1. 渡辺会長退会届及び後任に関する件

- ・ 9/21 渡辺会長の退会届を受理、退会とする

- ・ 後任会長の選任について

本日第1212会例会において、理事及び現執行部に一任する旨の会員の総意に基づいて協議の結果、横井直前会長にお願いすることに決定する

- ・ 上記決議に従って、横井直前会長にお願いの上、臨時総会を10/ 5 移動例会会場にて行う

☆第4回理事会

日 時 平成 6年10月12日 13:45～14:05 例会場において

出席者 理 事・横井好明、近藤 襄、藪島五郎、田中克己、森 実、田中亮二

幹 事・井上周輔

議 題

1. 10/ 5 臨時総会における決議事項の確認

2. 横井会長選出に伴う組織の変更

- ・ 会員増強委員長を名倉健二バスト会長にお願いする

- ・ 横井会長のロータリー情報委員及びインターアクト委員の後任選出

3. ガバナー公式訪問歓迎について

4. 会報の表紙、再印刷依頼する

5. 卓話者への謝礼基準について、次の通りとする

- ・市、区役所関係 市 車代 ¥10,000
区 記念品
- ・RC関係 記念品
- ・市内講師 車代 ¥20,000
- ・市外講師 車代 ¥30,000

6. 会田会員（さくら銀行青葉台支店長）転勤による退会届の受理と後任者辻 一昭君の入会届による入会承認諸手続の完了確認を行った

☆第5回理事会

日 時 平成 6年11月 2日 13:45～14:20 例会場において

席者 理 事・横井好明、小林 敬、近藤 襄、藪島五郎、森 実
幹 事・井上周輔

議 題

1. 次年度第5分区代理選出の件

森 善助パスト会長を選出することとして森パスト会長の承諾をお願いする

2. 社会への思いやりに対する会長賞、目的達成について

実績報告を横井会長よりガバナー事務局へ提出する

3. ベネファクター選出について

パスト会長の順番に従って、森 善助P会長、山下栄蔵P会長、以上2名の方をお願いする

4. 加藤雅光パスト会長見舞の件

昭和59年度以前の会員による見舞金贈呈とする

5. 創立30周年記念行事積立金について

平成 6年11月より 会員1名 ¥1,000/月の積立を行う

6. 会員増強に関する件について協議した

山下P会長より	青葉台商店連合会長	土志田 学 氏	} 4氏の入会について検討する
	都 筑 " "	中山 第三 氏	
三澤P会長より	川和電気	鮫島 氏	
	竹ノ下商事	内田 氏	

7. スマイル協力について

年間 ¥40,000/ 1名の予算計上を達成できるように

- ・入会、誕生、結婚、婦人誕生日の年間4つのお祝金 ¥5,000 以外に各人の様々な記念にスマイルをお願いしたい

- ・欠席者の4行事に対するスマイル協力の方法について催促する
- ・ニコニコ、ニガニガ共に ¥1,000 ～ ¥2,000 位で数多くお願いする方法の検討

☆第6回理事会

日 時 平成 6年12月 7日 13:40～13:55 例会場において

出席者 理 事・横井好明、小林 敬、近藤 襄、藪島五郎、田中克己、田中亮二

幹 事・井上周輔

議 題

1. 年次総会決定事項について

- ・緑ロータリークラブ細則第1条第1節 理事は9名とする
- ・ 〃 〃 第2節 会費は年額 ¥300,000 とする

2. 桐蔭横浜大学ローターアクトクラブにクラブ旗を贈呈する件について

会員1名 ¥1,000 寄付金として資金調達する

3. 創立記念日について

2/15 創立25周年記念日の例会計画

特別な行事は行わないが11月より創立30周年式典積立金を実施中

4. 行政上の区域変更のための横浜港北ロータリークラブ区域限界の変更届の確認（当クラブ区域限界は国際ロータリー日本支局に提出済）及び各会員に配布済

5. 新しい会員の種類、引退名誉会員を創設する件に対する当クラブの対応について

選出資格等の細則検討を要するので、他クラブ等の対応につて調査しながら創設する

6. 1995年度国際大会参加について

12/21 例会時に参加の申し込みの受付を開始する

申し込み結果によって1月中旬に決定する

☆第7回理事会

日 時 平成 7年 1月11日 13:40～14:40 例会場において

出席者 理 事・横井好明、小林 敬、近藤 襄、藪島五郎、田中克己、森 実、田中亮二

幹 事・井上周輔

議 題

1. 当年度クラブ活動計画に対する前半期の実績について（半期報告）

例会幹事新年挨拶にて別紙通り報告

2. クラブ活動計画の再検討

- ・ 期末懇親会の開催日時と費用等については国際大会参加申し込み状況を考慮して検討の上決定する

- ・ 2/15 例会終了後ラブニール会館においてクラブフォーラムを行う

3. 前半期会計概要報告（長沼会計）

前半期会費未納者 1名 長沼会計より納入依頼する

ニコニコ、ニガニガ 12/31現在 ¥555,000 （活動計画書予算計上 ¥900,000 ）

4. 後期会費請求の件

長沼会計より全会員に納入依頼FAX送付する 1/31まで納入とする

5. 1995－1996年度国際大会参加の件

クラブより案内状発送し、参加申し込みを文書にて提出とする

6. その他

スマイルに協力を呼びかける ニコニコボックスに協力依頼を貼付する

☆第8回理事会

日 時 平成 7年 2月 1日 13:40～14:10 例会場において

出席者 理 事・横井好明、小林 敬、近藤 襄、藪島五郎、田中克己、田中亮二
幹 事・井上周輔

議 題

1. 第2590地区大会 4/8.9 参加会費納入の件

全員登録、参加とする 特に入会三年未満の方全員参加義務者とする

2. プログラムについて

- ・ 2/ 8卓話 世界理解月間について

飯田委員長長期欠席のため内野副委員長にフォーラム依頼

- ・ 2/15クラブ創立記念25周年となっているが、例会終了後、午後2時から午後4時までラブニール会館にてフォーラムを行う
- ・ 2/22例会を創立25周年例会として、チャーターメンバーの卓話とクラブアッセンブリーを行う

3. 会員増強について

三澤P会長、山下P会長より提案の候補者リストにより増強に協力する

☆第9回理事会

日 時 平成 7年 3月 1日 13:40～14:40 例会場において

出席者 理 事・横井好明、小林 敬、近藤 襄、藪島五郎、田中克己、森 実、金子朝夫
幹 事・井上周輔

議 題

1. 25周年記念プロジェクトについて

会員一同の総意により、時節柄25周年記念行事は開催せず、30周年記念に向って会員積立を開始してきめ細かな奉仕を続けます

2. 神奈川県緑化推進委員会より永年賛助会員の表彰

3/31 受彰について ガバナー事務局と他クラブの状況を相談の上決定する

3. チャリティーバザー開催について

新横浜RCと共催で緑区役所前で行う

中林社会奉仕副委員長を実行委員長として、日時、場所、共催団体の有無等について検討上、告示する

4. 会員増強について

三澤、山下、代々木各P会長の御推薦者3名に入会案内を配布し、入会について検討しております 当期の増強活動経過を 3/ 8 のフォーラム時に幹事より報告します

5. 3分間スピーチについて

ガバナー訪問時の要望がロータリー関連に限定されたい

限定せずスピーカーの自主性に委せる

6. ロータリー財団留学生2名の面接について

3/15 13:40 より 有川マヤ、野中 進、面接する

7. アーバン三澤ビル新築祝について

クラブより新築祝を贈呈する

8. 桐蔭学園高等学校野球部甲子園出場祝について

クラブより祝金を贈呈する 会員各自の祝金も併せて行い贈呈する

9. 次年度役員及び委員長会議開催について

4/12例会終了後、例会場にて行う（例会場使用時間午後4時まで）

☆第10回理事会

日 時 平成 7年 4月 5日 17:00～17:30 夜間例会場において（横浜ロイヤルパークホテルニュー スカイラウンジ内）

出席者 理 事・横井好明、近藤 襄、藪島五郎、田中克己、田中克己
幹 事・井上周輔

議 題

1. 1995－1996年度理事及び会長選挙に関する件

小林（敬）会長エレクトより病氣療養のため次年度会長辞退届が 4/1付にて診断書と一緒に提出されました。理事会討議の結果、1995－1996年度理事 9 名中（横井好明、藪島五郎、遠藤一典、井上周輔、市瀬栄一、斎藤清紀、村松勇治）7 名の出席を得て、合同協議の結果全員一致にて中林靖パスト会長に理事及び会長をお願いすることとして、中林靖パスト会長に就任をお願いし快諾を得られましたので、4/12第1238回例会において横井会長より会員に報告する。

2. ローターアクト委員会より桐蔭学園ローターアクトにパソコン（点字変換）1台 ¥205,000 贈呈の件

会員 1 名 ¥5,000 の寄付金を徴収し費用に充当する

3. 森 実会員より日本経済新聞社及び関連企業より退職のため、退会届が提出されました森会員の退会により当クラブ会員は44名となります

4. 前当クラブ会員加藤雅光氏（横浜たまロータリークラブ初代会長）の御逝去の知らせがまいりました。4/16の告別式に当クラブより香典及び供花を贈呈する。

☆第11回理事会

日 時 平成 7年 5月10日 13:40～14:10 例会場において

出席者 理 事・横井好明、近藤 襄、藪島五郎、金子朝夫

幹 事・井上周輔

議 題

1. 例会変更について

- ・ 5月17日 12時点鐘 例会終了後バザー会場の緑区役所へ移動
- ・ 5月31日 夜間例会 6時30分より ホテルストラル 1F クレタ
- ・ 6月21日 期末懇親会

伊豆長岡温泉 山田屋 ☎ 0559-48-0715

2. 理事定数の変更について

定数 9 名が森（実）理事の退会と小林（敬）理事の死亡により当月より理事定数 7 名とする（補欠選挙を行わない）

3. 夏目会員の退会、小林（敬）会員の死亡により当クラブ会員は42名となります

4. 近隣 7 地区クラブ幹事会の発足式について

- ・ 近隣 7 地区とは東京都内：第2580地区（沖縄県内を除く） 50クラブ
第2750地区（マリア諸島及びミクロネシア連邦内を除く） 72クラブ

神奈川県内：第2590地区	55クラブ
第2780地区	66クラブ
千葉県内：第2790地区	78クラブ
埼玉県内：第2570地区	53クラブ
第2770地区	68クラブ

合 計 442クラブ

日 時 平成7年6月24日(土)午後6時開会

場 所 ホテル ニューオータニ(鶴：西の間)

東京都千代田区紀尾井町4-1 ☎ 03-3265-1111

登録料 ￥18,000

井上幹事出席します

5. 会員増強について

- ・当クラブ新入会員候補者選考要綱の改定について、検討の上別紙通り改定する
- ・会員増強五人組制各班に責任者を定め、各班1名、計5名の増強を期すべく努力する

☆第12回理事会

日 時 平成7年6月7日 13:40～14:40 例会場において

出席者 理 事・近藤 襄、藪島五郎、田中克己、金子朝夫、田中亮二

会 計・長沼 博

幹 事・井上周輔

議 題

1. 会員候補者の審査について

小林照二君の入会を承認した

2. 小林安雄会員の退会届については理事会預かりとし、三澤P会長と相談の上決定する

3. 1995年規定審議会制定案による標準クラブ定款の改正について

RIより送付された1995年規定審議会採択内容を本クラブ定款及び細則に添付し、改正基準に従うこととし、他クラブの対応について調査しながら第6回理事会議案名誉会員創設に関する件と併せて次年度理事会協議とすることとした

4. 長期欠席会員について

松田会員 長期療養中のため出席免除会員とした

飯田会員 〃 〃 〃

高嶋会員 病状回復、事業所移転準備も進展し、来期より通常出席することの報告

黒沼会員 出席を催促する

関口会員 //

5. 横井会長入院治療のため出席免除会員とするとともにクラブより見舞金を贈呈する

6. 会計報告について

長沼会員より 5/31 現在の残額と今期完了までの予定について説明を受けた

7. 6/28 例会終了後、次年度理事と引き継ぎを行う臨時理事会を開催する

☆臨時理事会

日 時 平成 7年 6月28日 13:40～14:40 例会場において

出席者 理 事・近藤 襄、藪島五郎、田中亮二

会 計・長沼 博

幹 事・井上周輔

1995～1996年度 理事、役員

理 事・中林 靖、藪島五郎、遠藤一典、井上周輔、市瀬栄一、斎藤清紀、村松勇治

SAA・森 一誠

会 計・須藤保夫

幹 事・脇田幸一

議 題

1. 1994～1995年度より1995～1996年度への引き継ぎについて

・幹事の引き継ぎ業務 井上幹事－脇田幹事 事務局にて行った

・会計の引き継ぎ業務 長沼会計－須藤会計 事務局にて行った

2. 小林安雄会員、飯田重雄会員の平成 7年 6月30日付退会届けについて

退会を承認する

3. 田中（克）会員より平成 7年 7月より平成 8年 3月までの休会届について

次年度第一回理事会にて協議する

4. 次年度予算表について説明

当年度藪島副会長より前年度（1994－1995年度）よりの繰越金 ¥1,200,000 として次年度予算を計上した旨説明あり、次年度予算表を配布されました

5. 次年度繰越金（長沼会計より）

全 般 貯 金	203,022	30周年記念積立金	224,030
ス マ イ ル 貯 金	1,376,088	福祉バザー売上金	140,410

総 会 議 事 録

☆臨時総会

日 時 平成 6年10月 5日 13:00～13:15

場 所 横浜市鶴見区生麦 1-17-1 キリンビール㈱横浜工場内
レストランビアポート 2F 個室
(職場見学、移動例会、第1213例会)

議 事 ・渡辺会長退会に伴う後任理事及び会長の選出

井上幹事より総会案内について説明の上、会員総数46名、総会出席者26名、委任状提出者13名、計39名の総会参加(84.7%)にて臨時総会成立を宣言し、議長選出を諮り藪島バスト会長が議長に選出され総会の決議を行い

後任理事に横井好明直前会長

後任会長に横井好明直前会長

が満場一致にて選出された。

☆年次総会

日 時 平成 6年12月 7日 13:00～13:10

場 所 例会場において(第1221例会)

議 事 井上幹事より当クラブ細則第4条第1節に定められた次年度役員及び理事の選挙を行う年次総会の開会宣言、議長に横井会長が出席会員の賛成で選出された。

- ・当クラブ会員46名中、本日出席36名、細則第4条第3節に定める定足数を充たしており年次総会の成立を宣言する

- ・理事及び役員の選挙について第1条第1節候補者を9名とする

- ・1995－1996年度理事の選挙

小林 敬、藪島五郎、横井好明、小林新一、井上周輔、斎藤清紀、遠藤一典、市瀬栄一、村松勇治 以上9名が選挙された

- ・細則第5条第2節会費について 次年度会費は年額 ¥300,000 とする

- ・出席会員に当クラブ細則を配布し (1) 第2条第2節 (2) 第4節 (3) 第11条第1節 (4) 第2節については現行通りとする

S . A . A 報 告

S A A 脇 田 幸 一

副SAA 斎 藤 清 紀

副SAA 森 一 誠

副SAA 渡 辺 隆 市

途中から渡辺副SAAの参加もあって、SAA全員が良く協力してSAAとしての仕事はほとんど遅滞、遺漏なく行うことができたように思えます。ただ、秩序正しく、時間を励行して例会を進行しなければならないという意識が強すぎて、やや進行が固くなりすぎて、「楽しく」という雰囲気を作るのに失敗したような感じが残り、反省しております。

①今年度から渡辺前期会長の発案によりチャイムを導入して、会の開始や時間の到来を知らせるようになりました。ただ、このチャイムで知らせても、全員の着席が遅れて進行がスムーズに行えなかったことが数度あったのは残念でした。

②3分間スピーチの毎回実施、全員が年度内に3分間スピーチを行うという年度初めの計画を実現できなかったのは遺憾でした。次回、次々回のスピーカーをお願いしてあったのが、当日欠席者が続きその日の3分間スピーチが行えなかったのが実情です。残念に思えます。

③喫煙は自分の席ではなく、食後に友愛コーナーで吸って頂くようにしましたが、そのためにやや卓話が遅れたように思える時がありました。

④奥様に誕生日のお祝いの蘭を例会の席で御贈り、またはご自宅にお届けいたしました。

⑤ニコニコ、ニガニガは完全に出して頂きました。

クラブ奉仕委員会報告

担当理事 田 中 克 己

副委員長 遠 藤 一 典

クラブ奉仕委員会には10の小委員会がありますが、先ず第一に会員増強・出席率の向上が最重要案件になるのでは無いでしょうか。相互関連を含めて下記の如く検証してみました。

会員増強問題について

手続要覧によると、クラブ奉仕委員会のうち職業分類・会員増強・会員選考・ロータリー情報の四委

員会は会員増強の重要性を鑑み会長エレクト又は副会長が直接統括する事になっておりますが、クラブ奉仕活動を円滑に機能させるためには、その職掌規定の確認と会員増強の主体性を明確にする必要があると思います。しかし今年度、上記四委員会の構成メンバーは一名を除き（現在は皆無）全員バスト会長という状況である。

新風を送り込み、会の活性化を計るにはより多くの若い会員が参加する事が望ましいのではないだろうか。

現在会員数42名中バスト会長14名、実に 3名に 1名はバスト会長であり又シニア会員については（通算ロータリー歴15年以上・通算ロータリー歴10年60才以上・通算ロータリー歴 5年65才以上）が16名の会員構成であります。良きに付け悪しきに付けその言動の会に及ぼす影響は大で有ることは申す迄ありません。

バスト会長と会員との格差の有無。会員がバスト会長に対しての遠慮の有無。バスト会長の小姑的存在の有無。一言居士や評論家の無責任な言動の有無、等々検証と反省が必要ではないだろう。

出席率の向上について

（１）例会が楽しいか？それとも退屈か？

一年間に約48回の例会がありますが、新役員の挨拶・新委員長の卓話フォーラムが二十一回地区大会・IACRAC・各大会・協議会の報告の 4回、夜間例会・懇親会の 5回等年間開催日の実に60%は例年通りのスケジュールである。特に新委員長の卓話（主に担当委員会の目的や運営方針）は毎年同じ事の繰り返しの感は拭い切れなく何か良策は無いものかと考えられる。毎年事務局から送られてくるマニュアル資料に基づいての話であり同じであるのは当然とは云え発言者にも失礼乍ら退屈であり時間の浪費ではないかと痛感する。誰が話しても同じ内容であるならば、会報に記載して各自解読して頂いて十分ではないだろうか。抽象的卓話より具体的卓話が望まれるようである。

（２）例会場の活気は？

会員42名中出席免除資格者（通算ロータリー歴20年60才以上・通算ロータリー歴15年70才以上の有資格者で出席規定の摘要を免除されたい希望を書面（通告書）を以てクラブ幹事に通告し理事会が承認した会員） 9名・長期欠席者 5名である、現在出席義務会員数は28名である。勿論出席免除資格者であって出席される会員もあり、平均の例会出席者は32名と云う現状であり在籍会員数に比較して淋しい限りの例会場風景であり沈滞ムードに拍車をかけている。比較的新しい会員や若い会員の意見・発言の機会を多くして、会の運営に反映するよう努力するべきであると考ええる。

出席委員会報告

委員長 斉藤 宏 一
副委員長 堀 賀 雄
委員 夏目 一 夫

- ①今年度の年間出席率は、当日出席 79.83%、補正後の値は 90.08%でした。これは思いがけない会長の不祥事や多くの退会者があり、意気消沈した故だろうと考えます。
- ②期間中ホームクラブ出席者には○、欠席者には△、無断欠席者にはX、メイクアップを行ったものにはⓂ、欠席免除者には母の記号をつけ、表をつくり毎回会場に掲示しました。
長期欠席者の二名に対しては委員長より懇切な出席依頼状を出し、幹事が同氏宅を訪問して、意向を確かめましたが思うようにはまいりませんでした。
- ④出席のホーラムについては思う所があり外部の卓話者（丹沢レジデンシャルホーム蜚の会、赤坂尚道氏）の交通事故に関する講演を依頼しました。
- ⑤出席の問題は単に出席させるという事ではなく、真にロータリーが有用であるか？楽しい存在であるか、との一言につきると思います。

1994	1	2	3	4	5
	例 会 日 付	会 員 総 数 (名 誉 会 員 を 除 く)	出 席 計 算 に 用 いた 会 員 数	出 席 また は メ ー ク ア ヱ ッ プ し た 会 員 数	百 分 率
7月	6日	47	36	34	94.4
	13日	47	36	33	91.7
	20日	47	36	31	86.1
	27日	47	36	夜 間 例 会	100
				合 計	372.2
				平均百分率	93.1
8月	3日	47	36	32	88.9
	10日	47	36	34	94.4
	17日			休 会	
	24日	47	36	32	88.9
	31日	47	36	夜 間 例 会	100
				合 計	372.2
9月	7日	47	36	33	91.7
	14日	47	36	32	88.9
	21日	46	35	31	88.6
	28日	46	35	32	91.4
				合 計	380.6
				平均百分率	91.2
10月	5日	46	35	29	82.9
	12日	46	35	34	97.1
	19日	46	35	33	94.3
	26日	46	35	32	91.4
				合 計	365.7
				平均百分率	91.4
11月	2日	46	35	32	91.4
	9日	46	35	32	91.4
	16日	46	35	29	82.9
	23日			休 会	
	30日	46	35	32	91.4
				合 計	357.1
12月	7日	46	35	31	88.6
	14日	46	35	クリスマス会	100
	21日	46	35	31	88.6
	28日	46	35	年末談話会	100
				合 計	377.2
				平均百分率	94.3

1995	1	2	3	4	5
	例会日付	会員総数 (名誉会員 を除く)	出席計算に 用いた会員数	出席または メークアップ した会員数	百分率
1月	4日			休会(定款)	
	11日	45	34	29	85.3
	18日	45	34	30	88.2
	25日	45	34	33	97.1
				合 計	270.6
				平均百分率	90.2
2月	1日	45	34	32	94.1
	8日	45	34	32	94.1
	15日	44	33	32	97.0
	22日	44	33	33	100
				合 計	385.2
				平均百分率	96.3
3月	1日	45	34	31	91.2
	8日	45	34	31	91.2
	15日	45	34	31	91.2
	22日	44	33	27	81.8
	29日	44	33	夜間例会	100
				合 計	455.4
4月				平均百分率	91.1
	5日	44	33	33	100
	12日	44	33	33	100
	19日	44	33	33	100
	26日	42	31	29	93.5
				合 計	393.5
5月				平均百分率	98.4
	3日			休会(祝日)	
	10日	42	31	29	93.5
	17日	42	31	27	87.1
	24日	42	31	28	90.3
	31日	42	31	夜間例会 28	90.3
6月				合 計	361.2
				平均百分率	90.3
	7日	42	31	30	96.8
	14日	42	31	30	96.8
	21日	42	31	29	93.5
	28日	43	32	28	87.5
6月				合 計	374.6
				平均百分率	93.7

職業分類委員会報告

委員長 山下 栄蔵
副委員長 名倉 健二
委員 近藤 襄

今期に於ける職業人を取り巻く環境は、益々深刻の度合いが強くなった不況で、あらゆる業種がダメージを受け、ロータリークラブ会員の候補に該当する人達にも一層厳しさが浸透して来たと言う状況でありました。

このために職業分類委員会としては「多くの席を空けて待つ」増強にも協力申し上げたのでありますが、結果として職業分類表は充填と未充填を比較して、未充填の多いままとなっていました。来期もまだまだ厳しさは続くと思いますので、どうぞ宜しく期待しております。

親睦活動委員会報告

委員長 藤津 均
副委員長 森 宏
委員 関口将実 黒沼正雄
須藤保夫 森 一誠
会田瞭三 村松勇治

1. 夜間例会（第5水曜日）

平成6年 7月27日

米宗 会員 28名

8月31日

新横浜プリンスホテル ポストン

会員・家族 37名

平成7年 3月29日

甲葉亭 会員 20名

5月31日

ホテル パストラル

会員 20名

2. クリスマス家族会

平成6年12月14日

インターコンチネンタルホテル

会員 30名

令夫人 30名

家族 8名

米山奨学生他 3名

3. 期末懇親会

平成7年 6月21日～22日

伊豆長岡 山田屋

会員 21名

家族会

平成7年 4月 5日

横浜ロイヤルパークホテルニッコー

スカイラウンジ シリウス

会員 24名

令夫人 11名

家族 6名

5. ゴルフ同好会

平成6年 7月 7日 横浜C. C

10月20日 グランフィールドズC. C

平成7年 2月16日 程ヶ谷C. C

6月22日 500クラブ

数多くの行事を行いました、会員各位の協力により無事に終了致しました。

雑誌委員会報告

委員長 長 沼 博

副委員長 斎 藤 清 紀

委員 代々木 和 男

1. 雑誌「友」の英語版を米国アイオワ州のエイモスロータリークラブに数回送り、日本のロータリークラブの活動状況を紹介して非常に喜ばれました。

2. 雑誌「友」をロータリアン以外の会社の応接室、待合室に置いてもらいロータリークラブの活動を多くの人々に知ってもらうように努めました。

会 報 委 員 会 報 告

委員長 市 瀬 栄 一

副委員長 村 松 勇 治

委 員 加 藤 喜 夫

例会翌週に必ず配布することを目標に48号まで無事終わることができました。委員会員及び事務局の瀬島さんの協力を感謝致します。

反省としましては会員個人の紹介等が少なく「読みたい」という会報にはもう一步の努力が必要であったと思います。

会 員 選 考 委 員 会 報 告

委員長 中 林 靖

副委員長 鶴 川 昇

委 員 岡 本 健

会員増強、職業分類、両委員会と検討し当クラブの選考基準の十分な理解を求めた上で3名の新会員が入会された。

会 員 増 強 委 員 会 報 告

委員長 名 倉 健 二

副委員長 矢 島 誠 治

委 員 山 下 栄 蔵

島 田 幸 夫

委員長、横井好明が期の途中で会長に就任したので委員長が更迭した。

会員増強目標5名は踏襲したが、緑区が分区されたのを契機に、JR東沿線を主体とした増強計画として「5ブロック制」の組織表を作成し、各ブロック最低1名の新会員獲得につとめたが、結果は下記の通りとなった。

入 会 者			退 会 者		
H 6.10.26	辻	一 昭	H 6. 9.21	渡 辺	宏 未
H 7. 3. 1	渡 辺	隆 市	H 6.10.19	会 田	瞭 三
H 7. 6.28	小 林	照 二	H 6.12.31	島 田	幸 夫
			H 7. 2.15	堀	賀 雄
			H 7. 3.22	森	実
			H 7. 4.25	小 林	敬
			H 7. 4.30	夏 目	一 夫
			H 7. 6.30	小 林	安 雄
			H 7. 6.30	飯 田	重 雄

プログラム委員会報告

委員長 堀 井 基 章
副委員長 土志田 猛
委 員 森 善 助

会員同士の理解を深めることはもとより、地域社会の発展に貢献・奉仕していける有意義なプログラムを作成することを目標とし、中でも卓話については会員がロータリアンとして自分の職業を通じて社会奉仕していることを、確認するために、特に新会員の方々に、職業報告をして戴きました。又、外部からの卓話者については、地域社会の現状を把握し、奉仕活動の指針となるように地域社会で活躍されている方々をお願い致しました。更にプログラムを進行するに当たっては、事前に担当者に通知書をお渡しし、予定通り実施されるよう確認させて戴きました。

当初予定のプログラム表を数次にわたり改訂したり、計画未決定の箇所を、計画・実施に移したり致しましたが、クラブ役員、各委員長をはじめ、会員各位のご協力、ご教示により、滞りなく委員会としての目的を果たす事が出来ました。皆様のお陰であり、ここに改めて深く感謝致します。

1994～1995年度（平成6～7年度）

月 週	平成6年 7月	クラブアッセンブリー 8月	9月	クラブアッセンブリー 10月	11月	12月
第一週	6日 渡辺新会長 井上新幹事 就任挨拶	3日 フォーラム 「会員増強 について」 横井委員長	7日 卓話 「職業報告」 村松会員 森（一）会員	5日 職場見学 （キリンビール） 金子委員長 （臨時総会） 会長交代	2日 卓話 「R財団について」 地区R財団増進 委員会内田全俊 委員	7日 卓話 「ニコニコについて」 名倉会員 年次総会
第二週	定例理事会 13日 「新年度計画」 四大奉仕委員長	定例理事会 10日 卓話 「報道と真実」 横浜創英短大 土屋助教授 クラブアッセンブリー	定例理事会 14日 卓話 宮本 毅 緑消防署長	12日 「米山月間 について」 代々木委員長 クラブアッセンブリー	定例理事会 9日 卓話 「職業報告」 岩田会員 辻 会員	定例理事会 14日 クリスマス家族会 （インターコンチネンタル）
第三週	20日 卓話 「職業報告」 須藤会員 森（宏）会員	17日 夏休み	21日 「青少年活動 月間について」 フォーラム 森 委員長	定例理事会 19日 ガバナー公式訪問 （AM11:00 ～PM3:30）	16日 「インターアクト大会 報告等」 夏目委員長	21日 「クラブ創立記念 日について」 岡本 健他
第四週	27日 夜間例会 （米宗）	24日 「国際奉仕 について」 フォーラム 田中委員長	28日 「社会奉仕 について」 フォーラム 中林副委員長 臨時理事会	26日 「職業奉仕月間 について」 フォーラム 金子委員長	23日 祭日	28日 年末談話会 （休み）
第五週		31日 夜間例会 （新横浜 プリンスホテル）			30日 「インターアクト大会 報告等」 加藤委員長	
年間行事	ロ－ター情報・広報 委員長会議 （15日） 青少年委員長 会議（27日） ゴルフ同好会	会員増強月間 福祉ボランティア （22・23日） 職業分類委員長 会議（5日）	青少年活動月間 社会奉仕委員長 会議（7日） 国際奉仕・米山 奨学金委員長 会議（14日）	米山月間 職業奉仕月間 ガバナー公式訪問 （19日） ロ－ター財団委員長 会議（7日） ゴルフ同好会	ロ－ター財団月間 インターアクト年次大会 ロ－ターアクト年次大会	定期総会 クリスマス家族会

横浜緑RC年間プログラム表

月 週	平成7年 1月	クラブ・アッセンブリー 2月	3月	4月	クラブ・アッセンブリー 5月	6月
第一週	4日 正月休み	1日 卓話 「現代病とストレス の関係」 医学博士 吉田勝明氏 (会長紹介) 定例理事会	1日 「クラブ奉仕 について」 藤津委員長 「出席について」 斉藤委員長 定例理事会	5日 家族会 (ロイヤル・ク ホテル・マコー)	3日 祭日休み	7日 次年度計画 について 会長エク 中林 靖 定例理事会
第二週	11日 横井会長 井上幹事 新年の挨拶 定例理事会	8日 「世界理解月間 について」 フォーラム 内野副委員長	8日 「会員増強 について」 フォーラム 名倉委員長	12日 卓話 「地区大会 に参加して」 井上幹事他 定例理事会	10日 クラブ・アッセンブリー 名倉健二他 定例理事会	14日 「一年を省みて」 遠藤青少年 委員長
第三週	18日 卓話 「世界と日本の 動き」 年の功クラブ代表 隈崎幸二氏 (会長紹介)	15日 クラブ創立25周年 記念日 「クラブ創立25周 年を迎えるにあ たって」 名倉健二他	15日 卓話 「GSAに参加して」 聖マリアンナ医科大学 神経精神学教室 伊野美幸氏	19日 卓話 高橋憲一 緑警察署 交通課長	17日 チャリティー・バザー (緑区役所)	21日 期末懇親会 伊豆長岡温泉 (山田屋)
第四週	25日 「ロータリー理解 推進月間」 山下栄蔵他	22日 クラブ・アッセンブリー 田中克己他	22日 卓話 「職場とエイズ」 ビデオ 主演 藤津会員	26日 卓話 「繰り返して欲 しくないこの悲 劇」 丹沢レゾデンスホーム 赤坂尚道氏	24日 「地区協議会 報告について」 会長エク 中林 靖	28日 会期終了挨拶 井上幹事 臨時理事会
第五週			29日 夜間例会 (甲葉亭)		31日 夜間例会	
年間行事	ロータリー理解推進 月間	世界理解月間 IM ロータリー創立記念日 クラブ創立記念日	地区大会 ゴルフコンパ (戸塚カントリークラブ) (20日)	雑誌月間 地区大会 (県民ホール) (8・9日) 福祉バザー	地区協議会 (21日) 期末懇親会 ゴルフ同好会	国際大会 (フランス・ニース) (11～14日)

ロータリー情報委員会報告

委員長 三澤 君 夫
副委員長 代々木 和 男
委 員 小 林 安 雄

クラブ奉仕が活発か否かは情報委員会の仕事にかかっているといっても過言ではありません。この点から判断すると充分でなかった様な気がします。深く反省しております。活動計画で会員による3分間スピーチの実施は合格でしたが、各種年間行事への積極的参加は今一步でした。

会長が不慮の病に倒れるアクシデントが数年来続きクラブに多少の苦悩がありましたが、今後は会員一同これにめげず心を一つに団結し、クラブ発展の為に頑張る様心掛けましょう。

広報委員会報告

委員長 小 林 新 一
副委員長 会 田 瞭 三
副委員長 辻 一 昭
委 員 関 口 将 実

1. 地域社会の皆様に、緑ロータリークラブの奉仕活動全般の内容を具体的に、4社の地方機関紙を通じて広報を行いました。例えば、障害児者と父母の会の夏休み旅行に参加し、バスの乗り降りや、お風呂に一緒に入るなどの介護に付添い、夕食会等、楽しい一時を過ごすなどし、又は、お年寄りが楽に移動をできる様に、車椅子・キッチンワゴン・サービスワゴン等を送り、更に楽しい一時を過ごしました事を広報しました。
2. ロータリーの友を通じて、地域の歴史という題で記載し、当クラブと地域を含めた所在地を広報しました。

社会奉仕委員会報告

担当理事 松 田 税

副委員長 中 林 靖
委 員 小 林 安 雄

松田委員長が当初より病氣療養のため不在であったが、全会員の協力を得て下記の通りの奉仕活動が行われた。

1. 緑区肢体不自由児父母の会へ寄付（8月）
夏季研修旅行に当クラブより斎藤（宏）、市瀬会員と小林（新）会員夫人が参加
2. 老人ホーム「緑の郷」へ車椅子2台とキッチンワゴン3台を贈呈（9月）
3. 阪神、淡路大震災に対する義援金に協力（1月）
地区でまとめて現地のガバナーに送金された
- ・ チャリティーバザーを新横浜RCと共催で行った（4月）
5. 地区社会奉仕委員長会議で各クラブよりアンケートを集めた
（イ）高齢化社会 （ロ）環境保全 （ハ）エイズについて
結果報告がありクラブで説明した
6. 横浜港南台RCより「ストップ・フロン法」の制定を求める請願について署名依頼があり会員の協力をお願いした

青少年奉仕委員会報告

理 事 森 実
副委員長 島 田 幸 夫

1. 青少年委員会におけるRYLA（ロータリー青少年指導者養成プログラム）が横浜市野島青少年研修センターで120名が参加して行われ、当クラブからも2名出席し、多くの成果を得る。
2. インターアクトクラブ年次大会が桐蔭学園女子部で行われ11校が参加して意義ある研修を深めることができた。また、海外研修（北京訪問）や、特別養護老人ホームへのボランティア活動など、その目的を達した。
3. ローターアクトクラブについては桐蔭横浜大学生を中心とした諸活動、特にボランティア活動に積極的に参加するよう働きかけた。
4. 青少年奉仕委員会の諸活動はこれからの社会を担う青少年の心身ともに健やかな発達と奉仕の心を要請することにねらいがあるので、今後共青少年と共に歩む心がけが肝要であろう。

青少年委員会報告

委員長 遠藤 一 典

副委員長 小林 新 一

1. 第18回青少年指導者養成セミナー（ライラ）が4月13日（木）～15日（土）にかけて金沢の野島青少年研修センターで行われ、1日参加してきました。中山義之ガバナーが最も力を入れた行事で当クラブから2名参加した。今期の「友達になろう」のテーマから、ライラ目標も「未来の自分を発見する3日間の旅」と題して、トータルコーディネーターの栖木望氏（元職業ジャーナル編集長）を中心に各グループごとに活発に討議された。
2. ローターアクトクラブの例会に常時出席し、健全な青少年の養成と奉仕活動を援助した。
3. 青少年の活動、とりわけ奉仕活動については、奉仕の心（精神）の育成が肝要であることを痛切に感じた。

インターアクト委員会報告

委員長 加藤 喜 夫

副委員長 高 嶋 経 保

青少年の健全な精神の育成は重要な問題であると考えていたが、我がインターアクトの生徒諸君の考え方は極めて健全で利他的な心を持つ真摯な態度であった。更に彼らを取り巻く環境を考え指導育成ができる様に、これからも努めていければと思う。

1. インターアクトの活動計画に沿って活動が円滑に行われる様に協力した。
2. 定例会にロータリアンの出席をお願いした。
3. インターアクト年次大会、地区大会等にロータリアン、インターアクトの出席をお願いした。

ローターアクト委員会報告

委員長 夏 目 一 夫

副委員長 黒 沼 正 雄

1. 桐蔭横浜大学RACの例会に常時出席し、主な活動である献血運動や、社会福祉諸団体のボランティア活動に参加するよう積極的に働きかけ、その目的を達した。
2. 献血運動は年2回実施し、夏休みに集中的に社会福祉諸団体のボランティア活動に協力した。
3. 阪神・淡路大震災に対する募金活動を行うと共に救援活動のボランティアにも参加した。
4. 桐蔭横浜大学RACに点字ワープロ機1台を寄贈し活用されております。

職 業 奉 仕 委 員 会 報 告

担当理事 金 子 朝 夫
副委員長 小 杉 隆
委 員 斎 藤 宏 一

ロータリーの金看板と言われ、精神論的な総論に終始し、難解なもの、という印象が強く、実際の活動についても具体性に乏しいと言われて居ります。そこで職業人として、日常携わっている業務そのものが奉仕であると考え、活動計画を実施致しました。

1. 身近かにある些細な事柄をとらえ働く従業員を通じ道徳を守り、環境の保全、地域社会への協力参加を呼びかけました。
2. 「社会奉仕実践事例集」を紹介し、日常業務即奉仕である事を理解して頂くと共に「職業宣言」を配布して具体的に問題提起をしてまいりました。
3. 異業種の職場見学会を実施し、見聞を広め、新たな知識を得られたものと思います。
4. 地区よりボランティア活動についてのアンケート調査があり、いかに具体的に奉仕活動に係ってきたか、又現在も係っているかを解答し評価を得ました。

いずれにせよロータリアンとして、又職業人として高い見識を持って行動し、実践し、継続して行う事に意義があると考えます。

国 際 奉 仕 委 員 会 報 告

理 事 田 中 亮 二

副委員長 三 澤 君 夫
委 員 岡 本 健

1. スリランカの孤児院建設計画に賛同し、当ロータリークラブもこれに協力、会員より浄財を募りこれを寄付した。
2. ベテランロータリアンに卓話をお願いし国際理解に努めた。
3. 本年度は国内において大きな災害があり、そちらの方に目が向けられがちであったため、世界的災害救援活動がおろそかになったのは反省的である。

世界社会奉仕委員会報告

委員長 飯 田 重 雄
副委員長 内 野 晃

委員長飯田重雄君が病気のため活動がままならず、副委員長内野晃との連絡がうまく取れず何も出来なかったこと申し訳ないと思っております。（内野記）

ロータリー財団委員会報告

委員長 内 野 晃
副委員長 会 田 瞭 三
副委員長 辻 一 昭
委 員 森 善 助

1. 一般寄付

協力者	41名中	35名	85.4%
寄付額	5873.8ドル	1人当	143.3ドル
(1人当の目標130ドルを110%達成)			

2. 新ベネファクター 2名

森 善 助 会員 内 野 晃 会員

3. 準フェローからポールハリスフェローになられた方 2名

小林 新一 会員 小林 敬 会員

4. 今年度準フェローになられた方 10名

遠藤 (2回目)	堀井 (2回目)	井上 (2回目)	森 (実) (2回目)
長沼 (2回目)	岡本 (2回目)	田中 (克) (2回目)	森 (一) (初)
須藤 (初)	辻 (初)	以上の各会員	

5. 現会員で

ポールハリスフェローの方 28名

準フェローの方 14名

ベネファクターの方 4名

㊦ ポールハリスフェロー

現 会 員 (敬 称 略)

1. 土志田 猛	2. 小林 安雄	3. 近藤 襄 (マルガル)
4. 三沢 君夫	5. 森 善助	6. 名倉 健二
7. 中林 靖	8. 岡本 健	9. 内野 晃
10. 鵜川 昇 (マルガル)	11. 藪島 五郎	12. 矢島 誠治
13. 山下 栄蔵	14. 代々木 和男	15. 金子 朝夫
16. 斎藤 宏一	17. 横井 好明	18. 脇田 幸一
19. 松田 税	20. 遠藤 一典	21. 堀井 基章
22. 井上周輔	23. 長沼 博	24. 田中 克己
25. 小林 新一	26. 小林 敬	27. 森 宏
28. 高嶋 経保		

元 会 員 並 会 員 外

1. 土志田 昭吉	2. 黒沢 保	3. 武藤 勝典
4. 戸田 修	5. 岩本 正三	6. 高橋 正文
7. 武藤 松一	8. 武藤 義一	9. 武藤 奏典
10. 岩岡 正	11. 石川 治道	12. 寺崎 誠三
13. 長瀬 正作	14. 山口 吉蔵	15. 中山 恒三郎
16. 鈴木 憲一	17. 森 玉江	18. 武藤 純子
19. 岩崎 董正	20. 浜田 勝弥	21. 田辺 政雄
22. 富永 力	23. 中山 礼子	24. 田辺 しげ子
25. 戸田 裕也	26. 古谷 英太郎	27. 中村 彰宏

28. 和田 功
31. 加藤 勇夫
34. 三橋 栄一
37. 遠藤 真作
40. 渡辺 清
43. 日高 信良
46. 渡辺 宏未

29. 城田 昭次
32. 小林 はま子
35. 幸内 伸雄
38. 上林 正勝
41. 松尾 一伸
44. 森 実

30. 赤柄 忠昭
33. 鶴川 楊子
36. 田沼 文衛
39. 二宮 一浩
42. 伊藤 通宏
45. 島田 幸夫

◎準フェロー

1. 遠藤 一典
4. 井上周輔
7. 小杉 隆
10. 森 実
13. 関口 将実
16. 渡辺 清
19. 内野 晃 (2回目)
22. 藤津 均
25. 岡本 健
28. 辻 一昭

2. 堀井 基章
5. 小林 新一
8. 黒沼 正雄
11. 森 善助 (2回目)
14. 田中 克己
17. 代々木 和男 (2回目)
20. 中林 靖 (2回目)
23. 斎藤 清紀
26. 森 一誠

3. 飯田 重雄
6. 小林 敬
9. 三沢 君夫 (2回目)
12. 長沼 博
15. 田中 亮二
18. 市瀬 栄一
21. 松尾 一伸
24. 堀 賀雄
27. 須藤 保夫

会 員 外

1. 遠藤 登貴子
4. 内野 陽子

2. 中村 順子
5. 山下 百合子

3. 岡本 トモエ

創立～1995年 6月末R財団寄付

累 計 130,643.8 ドル

内本年度分 5,873.8 ドル

米山奨学委員会報告

委員長 代々木 和男
副委員長 岩田 輝正
委員長 沼 博

活動計画にもとずき事業の遂行に努めました。

1. 卓 話 米山月間フォーラム＝事前に会員の数名から質問・意見をいただき答える形で卓話を行った。（森善助会員 平成 6年10月12日）
2. 懇話会 米山奨学生 珍 伯彰（台湾）、朴 世敏（韓国）のスピーチを行ったが、実のある懇話会は実行できなかった。
3. 寄 付 クラブの累計実績・本年度の目標を説明、協力を求め目標を達成した。
（普通 5,000-、特別 20,000-）
4. 米山記念館見学・墓参 親睦委員長の御助力により期末懇親会に併せて行った。
（平成 7年 6月21日）

会 計 報 告 書

(1994～1995年度)

会 計 長 沼 博

1. 一 般 会 計

〔収入の部〕

科 目	実 績	備 考
年 会 費	11,562,600	13,765,000×84%
雑 収 入	212,222	
繰 越 金	427,828	
収 入 合 計	12,202,650	

〔支出の部〕

	科 目	実 績	備 考
本 部 関 係	R C 基 金	161,658	
	地 区 分 担 金	1,155,000	
	地区大会分担金	848,000	
	I ・ M	337,500	
	地 区 協 議 会	124,500	
	米 山 奨 学 金	130,000	
	合 計	2,756,658	
総 務 関 係	例 会 費	438,639	
	記 念 品	715,773	
	通 信 費	152,409	
	消 耗 品	143,529	
	印 刷 費	1,618,334	
	事 務 委 託 費	2,180,000	
	備 品 費	72,124	
	交 際 費	317,999	
	雑 誌 文 献 費	210,392	
	慶 弔 費	184,399	
	合 計	6,033,598	
委 員 会 関 係	出 席	0	
	職 業 分 類	0	
	親 睦	758,191	
	雑 誌	0	
	会 報	1,321,909	
	会 員 選 考	0	
	会 員 増 強	1,500	
	プ ロ グ ラ ム	130,000	
	R 情 報	0	
	S ・ A ・ A	168,820	
	広 報	90,640	
	合 計	2,471,060	
一 般 会 計 合 計		11,261,316	

2. 特別会計（食事の部）

〔収入の部〕

科 目	実 績	備 考
年 会 費	2,202,400	13,765,000×16%
ビジター登録料	55,000	
合 計	2,257,400	

〔支出の部〕

科 目	実 績	備 考
例 会 食 事 代	1,959,800	
合 計	1,959,800	

3. 特別会計（奉仕の部）

〔収入の部〕

科 目	実 績	備 考
ス マ イ ル	1,279,274	
合 計	1,279,274	

〔支出の部〕

科 目	実 績	備 考
職 業 奉 仕	0	
社 会 奉 仕	298,460	
青 少 年	35,000	
インターアクト	218,609	
ローターアクト	270,080	
国 際 奉 仕	7,500	
世界 社会 奉仕	0	
ロータリー財団	0	
奨学生受入支出	178,600	
合 計	1,008,249	

集 計 表

区 分	収 入	支 出
一般会計	年 会 費 11,562,600	本 部 関 係 2,756,658
	そ の 他 収 入 212,222	総 務 関 係 6,033,598
	繰 越 金 427,828	委 員 会 関 係 2,471,060
	計 12,202,650	計 11,261,316
特別会計	年 会 費 2,202,400	例 会 費 食 事 費 1,959,800
	ビジター登録料 55,000	
	計 2,257,400	計 1,959,800
	ス マ イ ル 他 1,279,274	奉 仕 関 係 829,649
	繰 越 金 0	奨 学 生 関 係 178,600
	計 1,279,274	計 1,008,249
総 合 計	収 入 合 計 15,739,324	支 出 合 計 14,229,365
		次 年 度 繰 越 金 1,509,959

横浜緑ロータリークラブ組織表

1994～1995年度(平成6年～平成7年度)

1. 理 事 横井好明 小林 敬 近藤 襄 薮島五郎 田中克己
松田 税 森 実 金子朝夫 田中亮二

2. 役 員 会 長 横井好明 副 会 長 小林 敬
副 会 長 近藤 襄
副 会 長 薮島五郎
幹 事 井上周輔 副 幹 事 小杉 隆
S A A 脇田幸一 副 S A A 斎藤清紀
副 S A A 森 一誠
会 計 長沼 博 副 会 計 岩田輝正

3. 委 員 会 (◎印: 委員長 ○印: 副委員長)

(A) クラブ奉仕委員会(担当理事) ◎田中克己 ○遠藤一典

1. 出 席 委 員 会 ◎斎藤宏一 ○堀 賀雄 夏目一夫

2. 職 業 分 類 委 員 会 ◎①山下栄蔵 ②名倉健二 ③近藤 襄

3. 親 睦 活 動 委 員 会 ◎藤津 均 ○森 宏 関口将実 黒沼正雄
須藤保夫

4. 雑 誌 委 員 会 ◎長沼 博 ○斎藤清紀 代々木和男

5. 会 報 委 員 会 ◎市瀬栄一 ○村松勇治 加藤喜夫

6. 会 員 選 考 委 員 会 ◎中林 靖 ○鶴川 昇 岡本 健

7. 会 員 増 強 委 員 会 ◎名倉健二 ○矢島誠治 山下栄蔵 島田幸夫

8. プ ロ グ ラ ム 委 員 会 ◎堀井基章 ○土志田猛 森 善助

9. ロ ー タ リ ー 情 報 委 員 会 ◎三澤君夫 ○代々木和男 小林安雄

10. 広 報 委 員 会 ◎小林新一 ○辻 一昭 関口将実

(B) 社会奉仕委員会(担当理事) ◎松田 税 ○中林 靖 小林安雄

(C) 青少年奉仕委員会(担当理事) ◎森 実 ○島田幸夫

1. 青 少 年 委 員 会 ◎遠藤一典 ○小林新一

2. インターアクト委員会 ◎加藤喜夫 ○高嶋経保

3. ローターアクト委員会 ◎夏目一夫 ○黒沼正雄 森 一誠

(D) 職業奉仕委員会(担当理事) ◎金子朝夫 ○小杉 隆 斎藤宏一

(E) 国際奉仕委員会(担当理事) ◎田中亮二 ○三澤君夫 岡本 健

1. 世界社会奉仕委員会 ◎飯田重雄 ○内野 晃

2. ローター財団委員会 ◎内野 晃 ○辻 一昭 森 善助

3. 米 山 奨 学 委 員 会 ◎代々木和男 ○岩田輝正 長沼 博

備 品 目 録

品 名	数量	品 名	数量
ロータリーの鐘とハンマー	1	卓上名札	23
国 旗	1	テーブル・クロス	21
クラブ旗	2	コーヒー・セット	40
認 証 状	1	マホー・ビン	10
スマイル・ボックス	1	R財団寄附率証明書	1
グッド・ウィル・ボックス	1	茶 棚	1
レクチャー・アンブ	1	シュガー・ポット	6
テープ・レコーダー	1	ナブキン立て	6
レコード・プレイヤー	1	調味料入れセット	6
レコード (ロータリー・ソング)		クラブ小旗 (さお共)	10
ワイヤレス・マイク	3	クラブ印 (角)	1
会員個人別ボックス	2	クラブ会計印	1
書 庫	2	書類棚 (W 90 × H 180)	2
バナー掛 (各クラブのバナー共)	2	冷蔵庫ナショナル NRB8M3	1
バナー立て	13	スマイル・レポート入れ	12
タ ス キ	11	スイス・カウベル	1
パ ネ ル	19	漆谷 RC から点鐘台 (大邱松林 RC)	1
カ メ ラ	1	〃 記念楯	1
黒 板	1	R I C O P Y F T 4060	1
アクリル名札板	1	電気ポット	1
F A X M U R A T A F-24	1	2穴スクリーパンチ	1
		事務用回転椅子	1
応接セット 5点	1		

充填・未充填職業分類表

平成7年6月30日現在

職 業 分 類		会 員 名	勤 務 先	役 職 名
関 連	分 類			
医 術	内 科 医	Physician		
	循 環 器 科 医	Circulatory		
	外 科 医	Surgeon		
	小 児 科 医	Pediatricist		
	産 婦 人 科 医	Obstetrician and Gynecologist		
	歯 科 医	Dentist		
	口 腔 外 科 医	Oral Cavity Surgeon	田 中 亮 二	院 長
	整 形 外 科 医	Orthopedic Surgeon		
	耳 鼻 咽 喉 科 医	Ear Nose and Throat Doctor		
	眼 科 医	Ophthalmologist	藤 津 均	院 長
	歯 科 矯 正 医	Dent Orthodontic	加 藤 喜 夫	院 長
	麻 酔 科 医	Anesthetist		
施設及び病院	病 院	Hospital		
	専 門 病 院	Specialty Hospital	協 田 幸 一	院 長

職 業 分 類		会 員 名	勤 務 先	役 職 名
関 連	分 類			
教 育	高 等 学 校	Senior High School		
	幼 稚 園	Kindergarten		
	私 塾	Praivate School		
	短 期 大 学	Sumier College	堀井学園	高校短大理事長
	弁 護 士	Lawyer		
ビジネスサービス	税 理 士	Tax Service	長沼博	所 長
	経 営 相 談	Business Counseling Service	須藤保夫	代表取締役
	司 法 書 士	Judiciary Scribner Service		
	行 政 書 士	Government Administration Service		
	仏 教	Buddhism	斉藤清紀	副 住 職
機 械 及 び 装 置	神 道	Shintoism		
	建 設 機 械	Construction Machinery		
	履 帯	Caterpillar		
金 属 加 工 業	板 金 工 作	Sheet Metal Working		
	金 型 製 造	Molds Mfg		

職 業 業 分 類			会 員 名	勤 務 先	役 職 名
関 連	分 類	業 分 類			
自動車工業	自動車販売	Automobile Dealers			
	自動車修理	Automobile Repairing	小林 照二	㈱ブラザーモータース	代表取締役
電気及び電子工業	電気設備工事	Electric Construction	村松 勇治	㈱ジェス	代表取締役
	電気器具製造	Electric Appliance Mfg			
技術	測 量	Land Surveying			
物理療法	物理療科医	Physical Therapeutics			
プラスチック工業	ビニール高周波加工	Vinyl High Frequency Processing			
	金型製造	Mold Mfg			
印刷及び出版	書籍販売	Book Dist			
鉱油工業	石油製品	Refined Oil Products	松田 税	不動燃料工業㈱	代表取締役社長
	ガソリン販売	Gasolin Dist			
銃器及び火薬	銃 器	Fire Arms			
通信事業	電話事業	Telephone Service	渡辺 隆市	NTT中山支店	支 店 長
	情報通信	Information			
建設業	建築請負業	General Contracting			

職 業 分 類		会 員 名	勤 務 先	役 職 名
関 連	分 類			
建 設 業	建 築 設 計	井 上 周 輔	誠和技建工業㈱	代 表 取 締 役
	木 造 建 築	小 杉 隆	太陽建設㈱	代 表 取 締 役
	ビ ル 建 築	金 子 朝 夫	工藤建設㈱	常 務 取 締 役
	土 木 工 事			
	舗 装 工 事			
	建 築 リ フ ォ ー ム	市 瀬 栄 一	㈱不二建	代 表 取 締 役
	鉄 道 建 設	森 宏	森建設㈱	代 表 取 締 役
建 築 材 料 資 材	建 築 材 料	黒 沼 正 雄	黒沼木材㈱	代 表 取 締 役
	アスファルト製品			
	生 コ ン 配 布			
	設 備 工 事	関 口 将 実	㈱関口金物	専 務 取 締 役
家 具 及 び 室 内 装 飾	室 内 装 飾 用 品	森 一 誠	㈱宮地	代 表 取 締 役
不 動 産	不 動 産 業			
	ビ ル 賃 貸			
	貸 ス タ ッ デ ィ オ			

職 業 分 類		分 類	会 員 名	勤 務	先	役 職 名
関 連	分					
不 動 産	土 地 賃 貸	Proprietary Renting	斎 藤 宏 一	斎藤興業開発㈱		取 締 役 社 長
	輸 送	貨物自動車輸送				
衣 料	旅 行 斡 旋	Tourist Agency				
	綿 製 品	Cotton Goods				
農 業 及 び 園 芸	農 業	Agricuiture				
	飼 料	Feeds				
畜 産 業	獣 医	Veterinary Surgeon				
	木 材 販 売	Lumber Dist	小 林 新 一	小林建設林産㈱		代 表 取 締 役
酒 精 飲 料	Alcoholic Beverage					
食 品	食 品 輸 出 入	Food Importing & Exporting				
	給 食	Supply of Food				
金 融	都 市 銀 行	City Banking	辻 一 昭	さくら銀行青葉台支店	支 店 長	
	地 方 銀 行	Local Banking	岩 田 輝 正	横浜銀行中山支店	支 店 長	
	外 国 為 替 銀 行	Foreign Exchange Banking				
	信 用 金 庫	Credit Banking				

職 業 分 類		会 員 名	勤 務 先	役 職 名
関 連	分 類			
印刷及び広告	広 告 業			
	印 刷			
	看 板 広 告	高 嶋 経 保	横浜標識㈱	代 表 取 締 役
	活 版 印 刷			
	新 聞			
美 容	理 容			
	美 容 院			
	料 理 店 (和食)			
ホテルリゾート 及びレストラン	ホ テ ル			

シニア・アクティブ会員 (SENIOR ACTIVE)

元 職 業 分 類		会 員 名	勤 務 先	役 職 名
高 等 学 校	Senior High School	鶴 川 昇	桐蔭学園	理 事 長
履 帯	Caterpillar	名 倉 健 二	(株)東京リンク製作所	相 談 役
不 動 産 賃 貸	Real Estate Renting	森 善 助		
ボ ー リ ン グ 場	Bowling	三 澤 君 夫	三澤 (合資)	代 表 者
銃 器	Fire Arms	岡 本 健	ミロク機械(株)	代 表 取 締 役
建 設 機 械	Construction Machinery	山 下 栄 蔵	山下工業(株)	取 締 役 社 長
外 科 医	Surgeon	内 野 晃	内野医院	院 長
電 機 器 具 製 造	Electric Appliance Mfg	藪 島 五 郎		
建 築 材 料	Building Material	代々木 和 男	(有)代々木商店	取 締 役 社 長
アスファルト製品	Asphalt Products	中 林 靖	日本舗材(株)	取 締 役 会 長
ビ ル 賃 貸	Building Renting	矢 島 誠 治	(株)矢島ビルディング	取 締 役
情 報 通 信	Information	横 井 好 明	横井通信工業(株)	代 表 取 締 役
産 婦 人 科 医	Obstetrician and Gynecologist	近 藤 翼	近藤病院	院 長
活 版 印 刷	Letterpress	田 中 克 己	日本ビジネスフォーム(株)	代 表 取 締 役
不 動 産 業	Real Estate Agency	土志田 猛	(株)岩本不動産商会	代 表 取 締 役

